

土木学会複合構造委員会 第7回幹事会議事録

1. 日 時：平成18年3月17日（金）14:00～17:30

2. 場 所：土木学会 2階 C会議室

3. 出席者：

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，池田，伊藤，大山，武知，中村，古市，溝江，山口，渡辺

（敬称略，計12名）

4. 配布資料

資料 幹7-1 第6回幹事会議事録

資料 幹7-2 幹事会業務分担（案）

資料 幹7-3-1 複合構造物の性能照査指針小委員会 活動報告 2006.3.17

資料 幹7-3-2 複合構造の現状調査小委員会

資料 幹7-3-3 （欠番）

資料 幹7-3-4 新材料による複合技術研究小委員会の活動報告

資料 幹7-3-5 構造工学委員会第10回FRP橋梁設計技術小委員会幹事会議事録（案）

資料 幹7-4-1 複合構造物の性能照査指針（案）に基づく照査例の講習会（大阪会場）

資料 幹7-4-2 複合構造物の性能照査指針（案）に基づく照査例の講習会（札幌会場）

資料 幹7-4-3 行事に関する予算書

資料 幹7-4-4 東京講習会アンケート結果（その1）

資料 幹7-4-5 東京講習会アンケート結果（その2）

資料 幹7-4-6 講習会参加費の設定

資料 幹7-5 ジョイントセミナー（メール会議内容）

資料 幹7-6 平成18年度年次学術講演会研究討論会テーマ案

資料 幹7-7 学会誌原稿（STATE OF THE ART 複合構造委員会）

資料 幹7-8 II.各種委員会

資料 幹7-9 HPWGの検討事項

資料 幹7-10 予算執行状況

資料 幹7-11 平成18年度「重点研究課題（研究助成金）」申請書

資料 幹7-12 刊行物刊行状況・平成17年度

5. 議事次第

（1） 第6回幹事会議事録（案），第2回委員会議事録（案）の確認（資料 幹7-1）

大垣幹事長より，第6回幹事会議事録の確認がなされ，一部，語句の修正があったが，基本的に承認された．また，第2回委員会議事録（案）の紹介がなされ，特に細則について説明があった．細則は，委員全員へメールにて配送する．

（2） 幹事会業務分担について（資料 幹7-2）

- ・ 平成18年度幹事会および委員会の日時を決定した．

第8回幹事会・第3回委員会 H18.6.1（木）13:00-，15:00-

第9回幹事会 H18.7.6（木）15:00- （北大）

第 10 回幹事会	H18.8.29 (火) 14:00-
第 11 回幹事会	H18.10.13 (金) 10:00-13:00
第 12 幹事会・第 4 委員会	H18.12.22 (金) 13:00-, 15:00-
第 13 回幹事会	H19.2.2 (金) 14:00-
第 14 回幹事会	H19.3.19 (月) 14:00-

- ・平成 18 年度の委員および幹事の見直しについて、西崎氏に委員兼幹事を要請することになった。(上田委員長対応)
 - ・シンポジウム WG 長は中島副委員長とし、次期に立ち上がる論文集 WG の位置付けは、シンポジウム WG で審議することになった。
 - ・HP WG 長は山口幹事とし、委員は各小委員会 HP 担当委員とする。
 - ・ジョイントセミナーWG 長は横田幹事とする。
 - ・英文化出版 WG および企画 WG は廃止する。
 - ・継続教育プログラムにおいて、イブニングセミナーや各小委員会の講習会等の行事開催について検討する。(伊藤幹事対応)
- (3) 複合構造物の性能照査指針小委員会 活動報告(資料 幹 7-3-1)
- ・中村幹事より、3つのWGを準備中である旨、報告がなされた。
 - ・「複合構造物の性能照査指針(案)」における他の関係委員会との調整について、中村幹事が鋼構造委員会の依田先生と話し合った結果、鋼構造委員会としては整合を図ることも可能である、との意見であった。
 - ・本年四月頃に鋼・合成構造標準示方書の設計編の原稿ができあがる時点で、池田幹事経由で本委員会に同示方書の情報を伝達してもらう。
- (4) 複合構造の現状調査小委員会 活動報告(資料 幹 7-3-2)
- ・伊藤幹事より、3つのWGを立ち上げ活動中である旨、報告がなされた。
- (5) 新材料による複合技術研究小委員会の活動報告(資料 幹 7-3-4)
- ・上田委員長より、活動報告がなされた。
 - ・「革新的構造材料の活用検討委員会」の活動内容の一部は、本小委員会に取り込むことになった。
- (6) 構造工学委員会 FRP 橋梁設計技術小委員会 活動報告(資料 幹 7-3-5)
- ・大垣幹事長より、「構造工学委員会 FRP 橋梁設計技術小委員会」の活動内容の説明があり、同小委員会は本委員会内での活動を希望しており、本委員会に「FRP 複合橋梁小委員会」を立ち上げたい旨説明があった。
 - ・本幹事会で「FRP 複合橋梁小委員会」の設置を検討(幹事会としては設置 OK)した。設置に当たっては委員会の承認が必要であるため、全委員にメールにて承認を得る。(大垣幹事長対応)ただし、設置に関して、杉浦幹事経由で構造工学委員会の状況を把握する。
 - ・「FRP 複合」は用語の定義が不明確である、との意見もあった。
- (7) 複合構造物の性能照査指針(案)に基づく照査例の講習会(資料 幹 7-4-1~幹 7-4-6)
- ・大山幹事より、大阪での講習会(平成 18 年 6 月 16 日(金)大阪工業大学)について説明があった。
 - ・渡辺幹事より、札幌での講習会(平成 18 年 7 月 7 日(金)札幌市教育文化会館)について説明があった。講師は未定であるが、学会誌 5 月号に掲載までには講師を決定する。他団体からの話題提供を検討しており、そのために講習会時間を 30 分長めに確保した。
 - ・武知幹事、池田幹事より、東京で実施された講習会でのアンケート結果の紹介があった。アンケートでの Q&A は講師陣に回答を作成してもらい、随時 HP に掲載する。正誤表は、すぐに HP に掲載する。パワーポイントは公開しないことを確認した。講師の講習内容が重複しないために、事前に講師団で打ち合わせをする必要がある。

- ・ 川島事務局より、講習会の参加費の設定について説明がなされた。本委員会は、参加費はテキスト代込みを原則とするが、既にテキストを持っている人の参加にあたっては、事務局へ問い合わせて申し込み事を確認した。
- (8) ジョイントセミナー（メール会議内容）（幹 7-5）
 - ・ 上田委員長より、ジョイントセミナーの概要について説明があった。
- (9) 平成 18 年度年次学術講演会研究討論会テーマ案（幹 7-6）
 - ・ 大垣幹事長より、討論会について説明があった。
 - ・ 杉浦幹事の代わりに河野氏をパネリストとする。
 - ・ 研究討論テーマは、「インフラ構造物の維持補修における複合新技術の利用」とする。
 - ・ テーマは新設を対象とはせずに、維持管理分野における複合技術についてとする。
- (10) 学会誌原稿（STATE OF THE ART 複合構造委員会）（幹 7-7）
 - ・ 大垣幹事長より、学会誌 4 月号掲載の内容について説明があった。
- (11) II.各種委員会（幹 7-8）
 - ・ 大垣幹事長より説明があった。
- (12) HP WG の検討事項（幹 7-9）
 - ・ 山口幹事より、説明があった。FRP 複合橋梁小委員会の委員公募は保留とする。（大垣幹事長より、後日連絡あり。）
- (13) 予算執行状況（幹 7-10）
 - ・ 川島事務局より、説明があった。
 - ・ 残高は、照査例 160 部、英文版 100 部の購入費に充てる。
- (14) 平成 18 年度「重点研究課題（研究助成金）」申請書（幹 7-11）
 - ・ 中島副委員長より、今月中に採否がわかる旨説明があった。
- (15) 刊行物刊行状況・平成 17 年度（幹 7-12）
 - ・ 武知幹事より、複合構造シリーズ 01 の販売状況について説明があった。
- (16) 第 8 回幹事会開催日時について
 - ・ 日時：平成 18 年 6 月 1 日（木）13:00～
 - ・ 場所：土木学会

以上（記録・文責 山口浩平）